

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

より先進的に、神奈川・横浜の発展・創成を目指して！

**理工学部・大学院都市イノベーション学府設置記念式典・設置記念シンポジウムを開催
都市と地域のあり方、新たな大学の使命を提示**

- 横浜国立大学(学長:鈴木邦雄)は本年4月より理工学部、大学院都市イノベーション学府を設置しました。
- 設置の記念とともに、その意義を社会に向けて伝えるため「記念式典・記念シンポジウム」を開催いたします。
- シンポジウムは神奈川・横浜の都市の課題やその解決へ向けて、広く社会の皆さんと考える機会とするため、一般の方々の参加を歓迎するものです。

■シンポジウムの概要

★開催の趣旨

2010年代の現代日本は、急速な少子高齢化と、経済のグローバル化によって、社会のあり方が確実に変わる時代を迎えています。また、先般の震災により、これまで維持してきた生活のあり方の変革が求められる事態を迎えています。そこで、本イベントにおいては、来るべき将来に向けた生活のあり方の変容と、その変容に対し都市と地域のあり方がどのように変わるのかということを中心に、まず、建築家の立場から将来を見とおし(基調講演)、自治体関係者と本学理工学部、大学院都市イノベーション学府教員により議論を深め(パネルディスカッション)、都市と地域のあり方を考える機会を提供し、地域とともにある新たな大学の使命を提示します。

★開催日時：平成23年11月9日(水)

14:00~16:30(開場 13:30~)

★開催会場：日産自動車株式会社グローバル本社ビル

NISSAN ホール(横浜市西区高島1丁目1番1号)

<http://www.nissan-global.com/JP/COMPANY/HQ/GALLERY/>

★開催の内容

設置記念式典：14:00~・・・学長挨拶・来賓挨拶・理工学部の概要説明(石原 修理工学部 部長)・都市イノベーション学府の概要説明(梅本 洋一 都市イノベーション学府長)

シンポジウム：14:45~・・・『都市と地域のあり方』～震災後の来るべき将来に向けて)

1 基調講演：山本 理顕(横浜国立大学 前 Y-GSA 校長)

2 パネルディスカッション(モデレーター：北山 恒 大学院

都市イノベーション学府 教授、パネリスト：信時 正人

横浜市温暖化対策統括本部長・小池 文人 理工学部・大

学院環境情報学府 教授・佐土原 聡 大学院都市イノベ

ーション学府 教授

■参加申し込みは・・・・・・・・・・・・・・・・

下記リンクをご覧くださいオンラインにて申し込みを行ってください。

<https://www.ynu.ac.jp/event/apply.php?id=5285>

本件に関するお問い合わせ先

横浜国立大学 都市イノベーション学府係

Tel : 045-339-3826 Fax : 045-339-3828

e-mail : ses.daigakuin-urb@ynu.ac.jp

「理工学部」

横浜高等工業学校設置（1920）により始まり、横浜国立大学工学部設置（1949）以来の伝統ある本学の実践的工学教育をさらに深化・発展させるために、教育人間科学部で特色ある理学教育を展開してきた数学・情報学・化学・生態学の教員の参加を得て、理学から工学まで広い分野の基盤的学術を体系化した教育組織を構築し、本学の個性と特色を明確に打ち出した「理工学部」を平成 23 年 4 月に設置しました。

理工学部では、早期の教育の過程で学生が理工両方の素養を身につけ、その後専門教育を受けるようなカリキュラムを用意します。4年間の教育課程を経た後には、工学的センスを持った理学系科学者、あるいは理学的センスをもった技術者／工学系研究者として、さらなる研磨を積むことに喜びを覚えるような人材を育成します。

「都市イノベーション学府・研究院」

都市イノベーション学府・研究院は、都市に関わる研究分野をサステナビリティ（持続可能性）とクリエイティビティ（創造性）という観点から、都市の発展をめざす継続的で多様なイノベーションの創造を目指す教育研究組織です。建築、都市文化、都市基盤、といった学問的プラットフォームを基に、都市における有機的な共同体を維持するために必要な持続可能性（サステナビリティ）に関する工学的な研究と、共生社会に関する人文科学的な思考を結集し、創造性（クリエイティビティ）を創発する都市像の提案を目指します。これらの学問的な研究と人材育成の過程をとおり、地域発の新たな生活形態と持続可能な物理的・文化的な豊かさを持った都市とコミュニティのイノベーション像をここ横浜から発信します。